

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	共働による生活環境基盤整備事業
事業主体 (連絡先)	下條村 (0260-27-2311)
事業区分	地域協働の推進
事業タイプ	ハード
総事業費	6,132千円(うち支援金:2,000千円)

事業内容

従来より行われていた、常会等の地域組織による「みちぶしん」「道役」を地域と行政が一体となっていく本事業を平成4年度より本格的に事業化して現在に至る。本事業を導入することにより、道路、水路の改良・補修事業費の大幅な軽減を図ることはもとより、住民の細かい要望に「事業の先送り」をすることもなく、迅速且つ的確な対応ができる。また、地域の問題を、住民が自ら考え、自ら汗を流して対応することにより、「自助・互助・公助」の考えが生まれ、村民総参加の村づくりの礎になる。



(活動写真)等

自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

住民が求める以上の過大な事業にならないよう補助事業村単独事業、協働による整備事業の選択を的確に行うことが必要。当初「公共事業は国、県、村がやるものだ」といった声も聞かれたが、村の財政状況など身の丈にあった公共事業の必要性の理解を促す。

【目標・ねらい】

- 地域コミュニティの強化
- 住民主体の事業
- 道路愛護
- コスト削減

自己評価(目標達成率)【 A 】

今後の取り組み

・住民が目標をひとつにして全員で作業することにより、各地区内での親睦と交流の輪が広がっています。

・住民が自ら作った施設であり、共有の愛着(道路愛護)の精神が生まれ、施工後の管理も、地元施行の観点から地元で自主的に行ってくれています。

・また、補助事業のように工事内容等の制約がないので、地元の意向に添った独自の施工ができるとともに、道路を拡幅する際も、地権者自身が利用し施行する道路となるので、用地交渉も容易に行えます。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。